

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	多古町宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度～令和03年度（1年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	多古町													
計画の目標	大規模盛土造成地を把握し公表したマップに基づき、箇所ごとの優先度を評価し計画的に進めるための第二次スクリーニング計画を作成し、町の総合的な防災対策の推進を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		80	A	80	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R3末
1	第一次スクリーニング（盛土マップ作成）に基づき、第二次スクリーニング計画（既往資料及び現地踏査により優先度評価）を作成する。 第二次スクリーニングを計画的に進める為、第二次スクリーニングを作成する。 第二次スクリーニング計画作成	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	多古町	直接	多古町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査(多古町)	第二次スクリーニング計画の 作成(13箇所)	多古町						5	-	
	A13-002	盛土	一般	多古町	直接	多古町	-	-	盛土緊急対策事業	盛土調査	多古町							75	-
										小計							80		
											合計							80	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本総合整備計画の事後評価として多古町で実施

事後評価の実施時期

令和4年7月

公表の方法

多古町のホームページで実施

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

住民の地域防災に対する意識の向上を図るため公表している大規模盛土造成地について、基礎資料の整理や現地踏査等を行い、第二次スクリーニング計画を作成した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング計画作成率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%